

**令和3年度**

**学校関係者評価報告書**

令和4年3月31日

**学校法人 城西学園  
城西放射線技術専門学校**

1. 学校関係者評価の目的

学校関係者評価委員会は、城西放射線技術専門学校の運営状況（教育理念・目標、教育活動の現状や課題、経営状況など）について委員会メンバーから意見を聞き、学校運営を外部から評価することで改善に取り組むことを目的とする。

2. 学校関係者評価委員会

日 時：令和4年4月13日（水）

場 所：オンラインにて実施

出席者：学校関係者評価委員会委員、本校教職員

学校関係者評価委員会の人選は診療放射線分野、学校関係者、父母より人選し、学校長が任命した。

3. 評価対象期間

2021年4月から2022年3月

4. 評価は自己点検と同様に4段階評価（4：大変良い 3：良い 2：あまり良くない 1：良くない）とした。

## 基準1 教育理念・目的・育成人材像

	学校関係者評価項目	評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められている	4
2	教育理念・教育目標・育成人材像は専門分野におけるニーズに伴っているか	4
3	理念達成に向けた教育活動を行っている	4
4	教育理念・教育目標が周知されている	3

### 【評価・意見】

- ・理念が実現できるよう、今後も医療関係者と連携しながら実務に活かされる診療放射線技師としての教育を希望する。
- ・病院見学や関連企業の見学など診療放射線技師としての専門性を身に着ける機会を与えている点は今後も継続して行っていただきたい。

## 基準2 学校運営

	評価項目	評価
1	目的に合った運営方針が策定されている	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されている	4
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能している	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されている	3
5	組織整備など意思決定システムが整備されている	4
6	教育活動に関する情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている	4

### 【評価・意見】

- ・教職員の昇進・昇給については、城西学園の基準に準じているが、中学高校の教職員と同じ基準では経歴や評価等を考慮したとは必ずしも言い切れない。
- ・コロナウイルス感染対策のため通学出来ない学生も多い中、オンライン授業で成果を出した。しかし、オンラインでは習得の個人差があるので今後は対面と併用して安全に学校へ通える環境作りをしていく必要がある。

## 基準3 教育活動

	評価項目	評価
1	理念・目的に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めている	3
2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3	授業評価の実施・評価体制は整っているか	3
4	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確か	4
5	資格取得に関する指導体制は確立されているか	4
6	教員の資質、指導能力向上のための取組が行われているか	3

- ・オンライン授業を行う上で、資料などを学生が各自で印刷することは負担になっていないか。

- ・科目によって追試を受ける学生数に差があるのは、難易度が異なるからなのでは。学年ごとに目指すゴールを細分化し、指導をしていく必要がある。
- ・教員の知識向上のために今後も勉強会などに参加し、学生指導に還元して欲しい。

## 基準 4 学修成果

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られている	4
2	資格取得率の向上が図られている	3
3	退学率の軽減が図られている	3
4	卒業生・在校生の社会的な活動や評価を把握している	3

### 【評価・意見】

- ・退学者や留年生は入学時から金銭面やメンタルに問題がある場合もある。入学基準の見直しを入試前に行い、志の高い学生募集に努めて欲しい。
- ・卒業後の動向を学校へ連絡するのは本人次第となり、就職後は母校へ向ける時間の確保が難しくなる。この状況下では困難かもしれないが、卒業後は同窓会の参加など交流する場への積極的な参加を在学中から促して欲しい。
- ・就職において 100%を達成している点は素晴らしい。資格取得をしても就職しなければ放射線技師にはなれない。就職までを学校の任務として今後も指導して欲しい。

## 基準 5 学生支援

	評価項目	評価
1	進路指導に関する体制が整備されているか	4
2	学生生活に関して相談できる環境は整備されているか	3
3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
4	学生の経済的な支援体制はあるか	2
5	保護者と適切に連携しているか	2
6	卒業生への支援体制はあるか	3
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4

### 【評価・意見】

- ・退学を決めた者を止めることは難しいと思うが、学習意欲の確認や安易な退学を防止できるよう専門家によるカウンセリングなど相談しやすい環境が必要。面談以外にも LINE など気軽に相談できるようなツールの積極的な運用。
- ・社会人から入学した者にとっての保証人はどこまでの責任を負うものなのか。特に 30 代、40 代で入学する学生は自分で責任を取れる者が入学するべきであり、保証人との連携が重要とは考えにくい。
- ・校内に自動販売機や電子レンジなど、仕事を終えてから勉強する学生にとって環境は整備されてきた。学生の健康面など勉強する環境作りに今後も努めて欲しい。

## 基準 6 教育環境

	評価項目	評価
1	施設・設備は教育上、十分に対応出来るよう整備されているか	4
2	学外の実習やインターンシップについて十分な教育体制が整備されているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3

### 【評価・意見】

- ・校舎建て替え以降、学生用飲食スペースや自習場所が増え、施設・設備は揃えられている。今後は校内に Wi-Fi を設備するなどネットワーク環境の整備も視野に入れてもらいたい。
- ・夜間課程のため災害時には非常灯で移動するため、防災訓練は重要。教職員は役割を明確にし、防災に対する意識を高めていく。
- ・診療放射線技師カリキュラム改正に伴い実習先指導内容を含めて、実習開始までに十分な協議を行わなければならない。

## 基準 7 学生の募集と受け入れ

	評価項目	評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3
2	教育成果の情報提供は正確に伝えられているか	4
3	入学選考は、構成かつ公平な基準により行われている	3
4	学納金は妥当なものとなっている	4

### 【評価・意見】

- ・国家試験の合格率が募集活動においては何よりの広告材料になる。
- ・ホームページのデザインが変わらず、年度が変わった印象を受けない。受験を考える人は必ず目を通す媒体なので、次年度は変更を検討して欲しい。

## 基準 8 財務

	評価項目	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について、会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	5

### 【評価・意見】

- ・教職員が収益を把握することで、無駄な支出削減に努める必要がある。
- ・オンライン授業が中心となり、行事も中止や規模を縮小しているとのことで支出が減っていると思われる。その金額でネットワーク環境や新たな機器などで学生へ還元してもらいたい。

## 基準 9 法令等の遵守

	評価項目	評価
1	法令、設置基準を遵守し、適正な運営がされているか	3
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己点検・自己評価の実施と問題の改善に努めているか	2
4	自己点検・自己評価の結果を公開しているか	4

### 【評価・意見】

- ・以前に課題として挙げられた個人情報保護に関して規定を設けられた。今後も世の中の状況に応じて法整備などの対応を行っていく必要がある。
- ・法令について、誤った認識をしないよう外部の専門家を活用するなど、組織として進むべき規程を作る必要があるのではないかと。

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
1	学生の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3	地域活動に積極的な参加をしているか	1

### 【評価・意見】

- ・同じ法人の城西大学附属中学高校が行う地域ボランティアで参加できるものがあれば、参加希望者を募ることも一案ではないかと。
- ・仕事などで授業時間ギリギリに来校する学生も多い中、学校がボランティア活動を推奨することに限界があると感じる。